

認知症作業療法 活動報告（概要）

京都府作業療法士会では、社会貢献局内に位置付けられる認知症支援推進部を中心として、府民に対する認知症支援を軸とした直接的な社会貢献事業や、府内の作業療法士への教育研修事業等に取り組んでいる。

認知症カフェ支援に関する京都府からの受託事業（2018年度～2023年度現在）

2022年度も「本人の活動を重視する認知症カフェ開催支援事業（WITHコロナ）」として受託。府下の認知症カフェにアドバイザーを派遣し、主に認知症カフェの開催に関わる支援を行った。2022年度は5ヶ所のカフェ（運営会議）に、計24回、延べ46名を派遣。2023年3月には「認知症カフェ報告研修会」を開催し、事業に応募歴のあるカフェ運営者と士会員の交流を促進。



圏域ブロック局（京都府北部）に協賛したイベントを実施

2023年2月26日～27日「市民交流プラザふくちやま」にて、若年性認知症当事者の下坂厚さんが大切にしている作業「写真撮影」をテーマとした認知症啓発活動『記憶と心をつなぐ写真展』の運営に協力。対象は一般市民であり、さまざまな世代の方が足を止め写真に見入っていた。参加者は26日に109名、27日は117名。後日、本イベントが両丹日日新聞に掲載。



認知症カフェの運営協力

受託事業に先行し、2013年より認知症カフェ運営に協力。2022年度は受託事業とは別に6ヶ所、計36回、延べ39名を派遣。2023年度も継続中。

各種連絡会・協議会への関与

当事者団体、医師会や行政、各支援機関などで構成されている団体へ派遣を継続中。

京都認知症カフェ連絡会への関与

世話人1名を派遣。2023年6月からは事務局を京都府作業療法士会が担っている。



(公社)認知症の人と家族の会との連携

世界アルツハイマーデーに開催されるライトアップイベントの運営協力に加え、2023年度は他の事業でも協力し合える関係を構築中。

2022年度の振り返りと今後

2022年度の後半からはコロナによる規制が徐々に緩和され、カフェや研修会などはインターネットから対面へと移行していきつつある。それでも、カフェによっては開催に踏み切れない運営者は未だ多い。その苦悩をともにしながら、少しずつ前に進み始められる支援を届けることが求められている。